

資料6

基本方針に関するヒアリング資料

平成20年9月4日(木)

千 葉 県

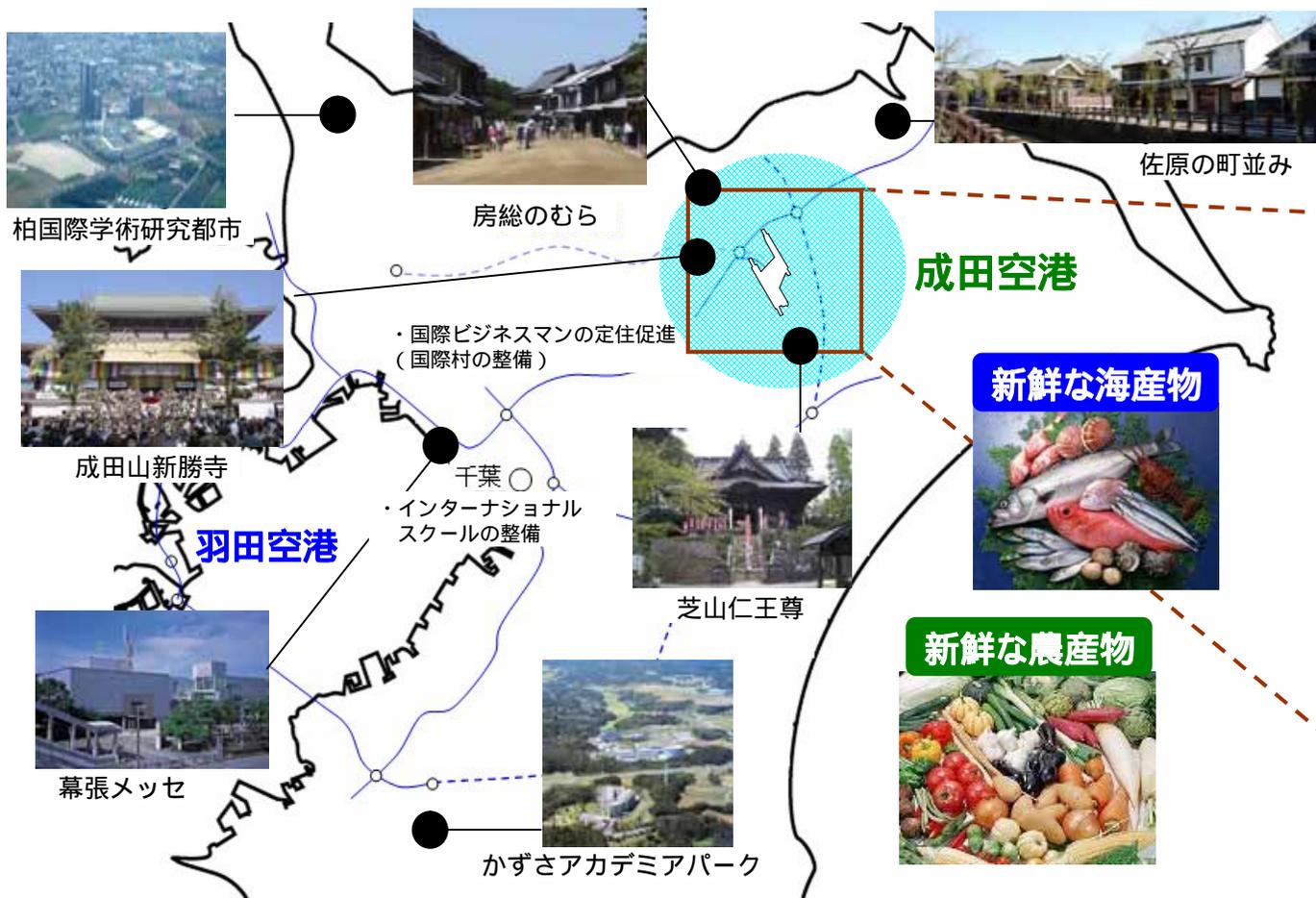
基本方針に関するヒアリング資料目次

成田空港の地域における役割について	1
近接空港（成田と羽田）間の役割分担その他連携の確保について	2
空港と連携した地域振興に向けた取り組みについて	3
空港の整備、安全対策等に対する要望について	4
航空分科会審議に対する要望について	5

成田空港の地域における役割

年間3,500万人の旅客が利用し、220万トンを超える貨物を取り扱う、国際航空ネットワークの拠点。
 空港周辺には、多くの国際物流施設が整備され、国際空港の優位性を活かした国際ビジネスが展開されている。
 また、県内の国際学術拠点などでは、多くの国際会議やイベントが開催され、その波及効果は全県に広がっている。
 成田空港周辺には、豊かな自然、歴史と文化、新鮮な食材など、豊富な資源があふれ、空港周辺に宿泊する年間約145万人
 (県全体の8割以上)の外国人をもてなし、空港周辺ははじめ千葉県全体の観光振興に大きく貢献している。
 今後は、年間約600万人のトランジット客の誘客に向けた施策を推進していく。

内陸空港の特性を生かした国際空港都市「ナリタ」の実現を目指す



空港内従業員総数

従業員総数 47,461人
 うち千葉県: 40,252人 (85%)
 (空港周辺市町: 23,581人 (59%))
 (2005年11月)

国際物流拠点の整備



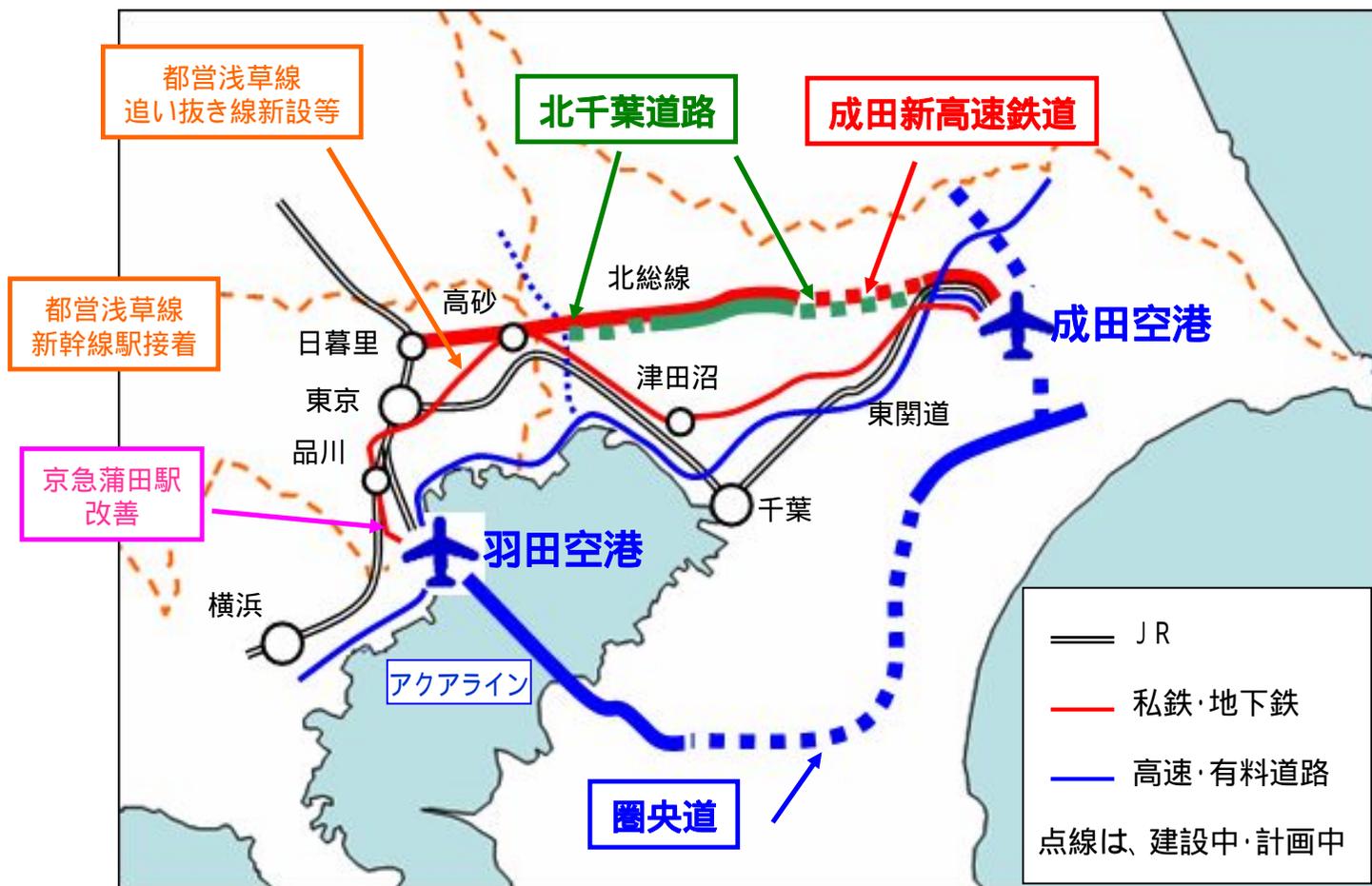
空港周辺には41社45ヶ所の
 物流施設が展開

(2006年12月末)

近接空港間の役割分担その他連携の確保（成田・羽田の有機的連携）

増大する首都圏の国際航空需要に対しては、成田の北伸整備を着実に進め、国際線の基幹空港である成田と、それを補完する羽田を有機的に連携させることが重要。

そのため、成田新高速鉄道・北千葉道路・圏央道の整備等の鉄道網・道路網の強化が不可欠。



成田空港と羽田空港の有機的連携

成田空港と連携した地域振興への取り組み(都市づくり推進会議)

成田国際空港都市づくり推進会議

構成員：成田空港周辺4市5町
(成田市、富里市、香取市、山武市、栄町、神崎町、
多古町、芝山町、横芝光町)
オブザーバー：国土交通省、成田国際空港株式会社、千葉県

支援

県：国際空港都市づくり庁内連絡会議
(関係21課で構成)

成田空港と地域のあり方(共通認識)

・成田空港の競争力を強化するため、地域が支援し育てていく姿勢が必要

成田国際空港都市づくり9市町プラン(基本構想)

【基本理念】9市町は、空港を共通の財産として活用し、地域と空港が
共生・共栄する魅力ある国際空港都市を目指します。

発着回数30万回の可能性について、プラス・マイナスの両面から検討

NAAより、空港能力として、環境面、施設面、運用面の制約を解消できれば、最大約30万回までの処理が可能と説明

推進会議による
検討着手

要請

- ・プラスの影響
県及び空港会社が協力し、平成20年度中に経済波及効果調査を実施
- ・マイナスの影響
国・県・地元市町・空港会社を構成員とする「成田空港に関する四者協議会」
で協議し、騒音等の地域・環境対策について検討

「成田国際空港都市づくり推進会議」の取り組みについて、国・空港会社も積極的に支援願いたい。

空港の整備、安全対策等に対する要望

空港の整備等

2,500メートル平行滑走路及び誘導路の確実な完成について、引き続き努力をお願いしたい。また、推進会議による発着容量拡大の可能性の検討にあたっては、一層の協力をお願いしたい。

環境対策・共生策の確実な実施

長年にわたり地域と空港との間で積み重ねてきた約束ごと、及び将来の増便の可能性を踏まえた環境対策や地域共生策が実施されるよう、基本方針を定められたい。

成田・羽田間のアクセス整備

羽田空港との有機的な連携を強化するため、成田新高速鉄道、北千葉道路及び圏央道などのアクセス網の整備に係る事業を、より一層推進されたい。

また、空港アクセスの更なる改善を図るため、東京湾アクアラインの値下げや、成田新高速鉄道とこれに接続する鉄道の活用による、都営地下鉄浅草線の追越施設の整備や新幹線駅への接着などを実現していただきたい。

航空機事故・事件への対応

空港及び航空機の安全運航等は、共生に向けて地域住民の理解を得るためにも、確実に確保しなければならないため、防止対策について、空港及び空港を利用する各航空会社への指導を徹底されたい。

成田国際空港株式会社への外資を含んだ資本規制

成田空港の完全民営化に向けた資本規制については、安全保障・災害対策（危機管理）などの視点や、長年培ってきた地域と空港の共生関係を維持していくためにも必要である。

航空分科会審議に対する要望

羽田空港へ着陸する航空機のほとんど全てが千葉県上空を通過している状況を踏まえ、騒音減策を図る等羽田の飛行ルート下における環境影響について十分配慮していただきたい。

北風時(木更津ルート)

【年間運用比率:約60%】

南風時 (市原・千葉・江戸川ルート)

【年間運用比率:約40%】

(南風時 市原ルート)

(南風時 千葉・江戸川ルート)

